社会福祉法人 京都市山科区社会福祉協議会 機関誌

Be-Vo

ビーボ

vol.38 令和4年（2022年）3月

発行者／内海 敏　編集者／吉川 彰

利用者の方を安全に送迎する工夫がいっぱい！

実際の使われ方が動画でも見られます！

やましなではたらく ふくしのくるま

社会福祉法人　京都市山科区社会福祉協議会

機関誌Be-Voは一部共同募金の助成金で発行しています。

工夫がいっぱい ふくしのくるま

からだが不自由でも安心!

福祉で使われている車は、からだが不自由な人にも快適に乗ってもらうための工夫がたくさんつまっています。今回は、京都ラクシヨーネと山科老人デイサービスセンターで実際に使われている車を取材しました!

取材協力
- 山科身体障害者福祉会館
- 京都ラクシヨーネ
- 山科老人デイサービスセンター

こんなところで活躍!

福祉有償運送 京都ラクシヨーネ

「いつでも使える(毎日運行)」、「気軽に使える(低額な料金)」、「気持ちよく使える(笑顔でサービス)」をモットーに、地域の障がいのある人や要介護状態の高齢者など、移動に困難を抱える方々に、低額な料金で移動支援を行い、利用者の活動範囲の拡大と生活の質の向上を図っています。

利用対象者
障害のある方、要介護・要支援の認定を受けている方
※利用するには会員登録が必要です

山科老人デイサービスセンター

〜こころもからだも元気になる楽しいデイサービス〜

「介護者、地域住民と手をつなぎあって、利用者が生きがいある豊かな暮らしを送れるよう支援します。」の運営理念のもと、柔道整復師による機能訓練や自由に選択できる豊富なレクリエーション、栄養バランスの考えられた食事メニュー、など、自分らしい生活を継続できるデイサービスを目指し、日々丁寧な送迎に努めています。

山科で活躍している車は大きく分けて2種類!

京都ラクシヨーネ所属 スロープタイプ

◆タント/アトレー
◆4人乗

後ろ向きに転げ落ちないように丈夫なベルトで車いすを固定して、スロープでゆっくりと乗り込みます。車いすから降りることなく移動することができます。

山科老人デイサービスセンター所属 リフトタイプ

◆キャラバン
◆10人乗

電動リフトでしっかり固定して、車いすのまま車に乗ることができます。リフトもゆっくり動くので安心して乗り込むことができます。

ページをめくって見てみよう!

福祉教育などでもお手伝いできます!

送迎等で車両が使われていない時間帯なら、学校の授業や地域活動などに出向いて乗車体験なども行っていただけます。
車いす体験と合わせて福祉車両を利用していただくと、これまでとは一味違った車いす体験ができるかも。詳しくは山科区社協までお問い合わせください。

社会福祉協議会(社協)って?

社会福祉協議会(社協)は、社会福祉法に基づく社会福祉法人で、地域福祉の推進を目的としている民間組織です。福祉の問題について考え、誰もが安心して地域で暮らしていける福祉のまちづくりのために、地域の皆様とともに一緒に取り組んでいます。

こんなところで活躍!

福祉有償運送 京都ラクショーネ

「いつでも使える(毎日運行)」、「気軽に使える(低額な料金)」、「気持ちよく使える(笑顔でサービス)」をモットーに、地域の障がいのある人や要介護状態の高齢者など、移動に困難を抱える方々に、低額な料金で移動支援を行い、利用者の活動範囲の拡大と生活の質の向上を図っています。

利用対象者	障害のある方、要介護・要支援の認定を受けている方 ※利用するには会員登録が必要です

山科老人デイサービスセンター

〜こころもからだも元気になる楽しいデイサービス〜

「介護者、地域住民と手をつなぎあって、利用者が生きがいある豊かな暮らしを送れるよう支援します。」の運営理念のもと、柔道整復師による機能訓練や自由に選択できる豊富なレクリエーション、栄養バランスの考えられた食事メニュー、など、自分らしい生活を継続できるデイサービスを目指し、日々丁寧な送迎に努めています。

山科で活躍している車は大きく分けて2種類!

京都ラクショーネ所属 スロープタイプ

◆タント／アトレー
◆4人乗

後ろ向きに転げ落ちないように丈夫なベルトで車いすを固定して、スロープでゆっくりと乗り込みます。車いすから降りることなく移動することができます。

山科老人デイサービスセンター所属 リフトタイプ

◆キャラバン
◆10人乗

電動リフトでしっかり固定して、車いすのまま車に乗ることができます。リフトもゆっくり動くので安心して乗り込むことができます。

スライドドア
せまいスペースでも
大きく開くスライドドア

ピラーレス
ドアの間に柱がない車は、
大きく開いて乗り降りしやすい!

ゆっくり安全に乗りこむよ!

しっかり固定した電動のベルトで
ゆっくりと引っ張りあげます。
職員さんが後ろから支えて
車いすにのったまま、車に乗ることができるよ。

車いすのまま乗れるんだね!

車いすでも中は広々!

車いすで乗り込んでも、中は意外と広々!
移動中に車いすが
動いてしまわないようにしっかりと
固定して、シートベルトもつけるよ。

電動リフトで乗り降り!

車いすがほとんどかたむかないから、
乗り降りの負担が少ないよ。
中は車いすが2台乗れる広さなんだよ!

ビニールカーテン

感染症対策も万全に!

いつでも見守っているよ!

職員さんは走行中も
利用者さんを見守れるよう、後ろ向きの補助イスに座るよ。

ステップ

ドアが開くと自動でステップが出てくる!
足が上がりにくい人も、楽にのぼれるよ。

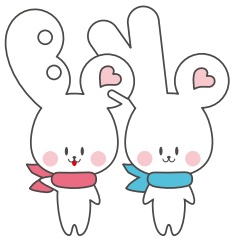
細かな所にも気くばりを。

ティッシュや消毒スプレー、
ビニール手袋、大きな傘、
ふみ台など、安全で快適に
乗車してもらうための
道具をいつも用意しているよ。

車いす収納

必要なときに、車いすをもっていけるよう、
収納スペースがついてるよ。

ボランティアセンターだより



聴覚に障害のある方のコミュニケーションを知っていますか?

ボランティアセンターでは、聴覚に障害のある方のコミュニケーションの手段である
「要約筆記」と「手話」を体験する講座を開催しました。
地域でお互い助け合える関係を受講いただいたみなさんから広めていただきたいと思います。

要約筆記とは

文字で伝える技術(文字通訳)です。話し言葉を要約し、文字にしてリアルタイムに伝えます。
話の内容をその場で文字にして伝えますが、「話すスピード」は「書くスピード」よりも速く、全部は文字にできないため、話の内容を要約して筆記します。そのため「要約筆記」といいます。

講師は、「要約筆記サークル“かたつむり”」の要約筆記ボランティアと、「中途失聴・難聴者協会山科支部」の当事者の方です。

手話とは

言葉を音でなく手の動き等で表わすものです。
手や指の動きを中心に、
表情など体の動きによって表現します。

講師は、「聴覚障害者協会山科支部」の当事者の方と、「手話学習会みみずく山科支部」の手話ボランティアです。

山科区内のボランティアと当事者の方に講師をしていただきました。

ボランティアセンターでは、ボランティア講座をはじめ、ボランティアに関する情報提供・相談・調整や区内で活動するボランティア団体への助成、ボランティアのネットワークづくりを通して、地域のボランティア活動の活性化に取り組んでいます。

チャリティボックス　ご寄付いただきありがとうございます。

皆さまからの貴重なご寄付は、山科区の社会福祉のために活用させていただきます。

匿名 50,000円 令和3年 7月16日	株式会社 阪急オアシス様 57,000円 令和3年 9月30日	匿名 10,000円 令和3年 10月21日	匿名 1,000,000円 令和3年 10月27日	株式会社 京滋工業様 100,000円 令和3年 12月17日

※本会への寄付(特定寄附金)は、個人の場合は所得税控除及び住民税(府民税・市民税)に対する税額控除を受けることが、法人の場合は法人税法上の損金算入することが可能です。
詳細については国税庁ホームページ(https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/taxanswer/shotoku/1266.htm)にて、ご確認ください。

ふれあいネットワーク

社会福祉法人
京都市山科区社会福祉協議会

住所　〒607-8344 京都市山科区西野大手先町2-1
電話番号　075-593-1294　FAX　075-594-0294
WEBサイト　https://yamashina-shakyo.or.jp/
メール　email@yamashina-shakyo.or.jp

Instagram　Twitter　YouTube